

種別	質問	回答
その他	私立中学校は、部活動地域展開の対象外ですか。	本市が実施するかこ☆くらについては、公立中学校のみが対象と考えていただきたいと考えています。ただし、地域クラブに参加することは可能です。
その他	競技志向が高い場合、かこ☆くら地域クラブと民間クラブをどのような判断基準で選ぶのがよいのですか。	民間クラブの情報については、市として全てを把握できないため、各ご家庭で情報収集していただくこととなります。また、参加するクラブを選ぶ際には、参加費や活動頻度などがニーズと合致するかを考慮してご判断してください。
その他	こどもたちの体力の低下についてどのような対策を考えていますか。	かこ☆くらにおいては、レクリエーション志向の地域クラブも出てくると想定しています。マルチスポーツといった言葉もあるように、競技志向の活動への参加が難しい方も、仲間と楽しむことを目的とした活動を紹介していきたいと考えており、運動する機会を持てるようご家庭でも話し合う機会を持っていただきたいと考えています。
その他	部活動は、非行のこどもたちを減らすために始まったと思うのですが、部活動がなくなり、家庭毎の差が出やすくなることで、放任的な家庭の、時間と体力が余っている中学生が、コンビニやドラッグストアなどに集まったりして、より非行に走りやすくなってしまうのではないかと心配です。	かこ☆くらは行政だけが取り組むものではなく、学校、家庭、地域の協力を得て成立するものと考えています。その中で、保護者の皆さまにおかれましては、放課後や休日の過ごし方についてお子さまに寄り添い、考えていただく機会を持っていただくとともに、多世代の方と交流する中で社会性や協調性を養うことを目的に、かこ☆くらへの参加を促すなど、引き続きご協力をいただきたいと考えています。
その他	部活動の地域展開は、高校も同様に進んでいくのですか。	部活動の地域展開は高校も同様に改革を推進することとされています。しかし、高校は部活動や勉強等、各学校により特色が異なることもあり、進んでいない状況です。
その他	各種パンフレットの問合せ窓口として、学校教育課とスポーツ・文化課の2つありますが、どちらに問い合わせればよいのですか。また、対応可能時間は何時から何時までですか。	かこ☆くらに関する内容については、スポーツ・文化課が窓口となっています。ただし、情報については随時共有しながら進めているため、学校教育課にご相談いただいても対応は可能です。対応可能な時間としては、平日の 8時30分から 17時15分です。

種別	質問	回答
その他	教育委員会として、具体的な目標（加入率や満足度等）は定めていますか。	少数の生徒だけが求めている地域クラブの立ち上げに尽力することは現実的に困難なため、ある一定数のニーズがあるものについては、地域クラブの立ち上げに尽力したいと考えています。
その他	地域クラブの立ち上げを検討している団体向けの説明会を実施し、地域クラブの数を把握してから保護者説明会を実施すべきであったのではないですか。	まずは、部活動が終了し新しい形に変わっていくというイメージを共有し、これからの活動をどのように担っていくべきかというイメージを既に活動している団体や保護者の方に持っていただく必要があると考え、保護者説明会を先に実施しました。これまでとは違った活動となることをメッセージとして発信していくことも目的の一つと考えました。今後、地域クラブを募集し、応募や登録状況、支援策などを随時情報発信を行っていきます。また、保護者の方や地域の皆さんの意見を伺いつつ、子どもたちにとってより良い環境整備に努めていきます。
その他	明石市や稲美町は地域展開の動きがないと話を聞いていますが、近隣市町や全国的な足並みは揃っていくのでしょうか。	長い歴史のある部活動を変えていくにはどうしていけばよいのか、先行している他自治体を参考に、ガイドラインを定めつつ、各種目協会の方と話を進めている状況です。他自治体との情報共有の場もあり、加古川市を参考に準備を進めている自治体があることも情報としてはつかんでいます。地域展開の時期や方法は自治体により差は生じているものの、部活動の改革はどこの自治体も進めている状況です。
その他	かこ☆くら地域クラブと民間クラブの違いはなんですか。	保護者説明会資料内の民間クラブとは、かこ☆くらに登録されていないクラブを示しています。民間クラブとして具体的に挙げられるのは、民間企業等が実施するクラブが挙げられます。民間企業についても営利を生まない場合のみ、かこ☆くらに参加することも可能としていますが、企業の会計とは別に、地域クラブのみの会計設定を行う必要があります。

種別	質問	回答
その他	今までの部活動は教職員の善意に甘えてきた部分がありますが、かこ☆くらに変わることでその先が地域に変わるだけにならないように尽力いただきたい。	こどもたちにとってより良い環境となるように取り組みを進めていきます。
その他	備品と消耗品の区別は。	一般的に、学校に据え付けられた設備やゴール等を備品と考えています。一方消耗品は、ボールやシャトル、石灰等と考えています。現時点では明確に線引きしているわけではないため、これから各学校を訪問し、設備・備品の確認を行っていきます。その中で、サッカーゴール等、学校ごとに利用可能な備品の選定を行っていくこととしています。
その他	先行種目については、今後増える可能性はありますか。	部活動にある種目で先行実施するのは3種目のみであり、増えることはありません。